

第2回小中学生検討会（こどもモニター）活動報告

- 1 日時 令和3年11月13日（土） 10時～12時
- 2 場所 松戸市教育委員会 5階会議室 6階会議室
- 3 出席者 松戸市こどもモニター 小学6年生6名 中学2年生11名

第2回小中学生検討会活動の様子

11月13日（土）に、第2回小中学生検討会が行われました。その様子をご紹介します。



グループごとに発表しました

小学生は、標準服（制服）を作成する際のポイントにはどのようなものがあるかについて話し合いました。その後、それぞれのグループで重視したいポイントをもとに標準服（制服）のあり方を考えて共有しました。最後は、個人で標準服（制服）の機能やデザインを考える活動を行いました。



工夫を凝らしてイメージ作成中

誰もがズボンやスカートなどを違和感なく着用できる、誰もが選んで着用できるといった多様性への対応、動きやすさや、着やすさなどの機能性、おさがりとしても長く着ることができるといった耐久性など様々な観点から、これからの標準服（制服）のイメージを作ることができました。



標準服のアイデアをイメージへ

中学生は、多様性について「何を学べば良いのか」「どこまで尊重すべきか」などを考えました。難しい問いかけでしたが、自分の身に置き換えて真剣に考えていました。後半は、「私が考える標準服（制服）」をテーマに標準服（制服）のあり方を考えました。グループで3つのコンセプトを考え、それをヒントに個人でイメージを描きました。詰襟を残したいという考えや、松戸市のカラーを採用したい、私服も一つの選択肢であることなど様々な意見があがりました。



活発な意見交換

残念ながら当日参加できなかった小中学生も、後日、標準服（制服）のイメージを各自で作成し、検討に参加しています。

児童・生徒たちの意見・感想等

検討会の中で、実際に児童・生徒からあがった意見や感想の一部をご紹介します。

○小学生

- ・制服による差別、違和感をなくし、だれもが自由に着られるような制服を考えること。
- ・みんないろんな制服を考えていてすごいと思い、自分ももっといい制服を考えていきたいと思った。
- ・他の人の考えを聞いて今まで以上に自分の考えが広がり、いい機会となった。
- ・いろいろな概念をなくす。というのが多くて、多様性をみんな大切にしているなと思いました。
- ・私が考える標準服（制服）は、とても使いやすく、安くて、丈夫で、カスタマイズできる服。
- ・私が考える標準服（制服）は、自由にえらべるがちがいがわかりづらくて、やぶれにくく、おさがりで使える、軽くて、すけなくて、すずしい服。

○中学生

- ・多様性の範囲は人それぞれだと思うので考えるのがとても難しかったです。標準服（制服）については、どのような多様性を重視した服にするのか考えるのがとても難しかったです。話し合いで考えや意見を聞くことができたので良かったです。
- ・多様性をどこまで広げるかは考え方が人それぞれ違うし、意見が分かれるのはもちろんあると思う。そこで相手を嫌な気持ちにさせない、プライバシーを確保することが大切だと改めて考えました。標準服（制服）については、まず「着たい！」と思うことが大切です。
- ・今まで多様性について深く考えたことが無かったので、自分の考えをまとめるのが難しかったのですが、仲間の考えを参考に知識を深めることができました。標準服（制服）は多様性やデザインにもルールや限度があり、その中で皆がうなずける、手にとれる服になったら良いと思いました。